

# 令和8年度 学力向上のための重点プラン【中学校】 新宿区立牛込第二中学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和8年5月8日】

授業作り	重点	一人1台タブレット端末の効果的な活用法を探究し、生徒一人ひとりが主体的に学習に取り組める授業作りを目指す。
環境作り		教材の内容や提示方法の工夫、協働的な学びの実現に向けた学習形態の工夫などを通して、学びに向かう環境作りを目指す。

■ 各教科の取組について

教科	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子などから)	目標達成のための取組
国語	・令和7年度新宿区学力調査では、「言葉の特徴や使い方」「複数の条件に従って自分の考えを書くこと」について課題があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業や家庭学習において、文法等の言葉の使い方について時間を確保することを通して、「言葉の使い方」の定着を図る。</li> <li>身に付けた知識や考え方を活用して表現する活動の場を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①平素の授業での文法事項の確認問題の取組</li> <li>②身近にテーマを用いた作文課題の設定、作文の相互確認</li> </ul>
数学	・令和7年度実施の新宿区学力定着度調査では、1年は「数と式」2年は「図形」について課題があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本用語を理解し、反復練習を行いながら自由進度学習で、計算力の定着を図る。</li> <li>身に付けた知識を根拠として、解法について説明する活動を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基本事項確認後の自由進度学習の実施</li> <li>②小集団での説明・発表</li> <li>③各単元の目標達成シート、振り返りシートなどの作成</li> </ul>
理科	・令和7年度新宿区学力調査では、「電流と磁界」や「物質の成り立ち」「植物の体のつくりと働き」の分野について課題があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な化学反応について理解し、反復練習を行い、考え方の定着を図る。</li> <li>身に付けた知識や考え方をもとにして、実験結果から考察を広げていく活動を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小集団での観察・実験の充実</li> <li>②レポート作成・振り返りの充実</li> <li>③ワークシートの工夫</li> </ul>
社会	・令和7年度新宿区学力定着度調査では、基礎問題および地理の分野の正答率に課題があった。また、知識・技能に課題が残る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本用語などを理解し、知識の定着を図る。</li> <li>話し合い活動の充実や、自分の意見を考え、発表する場を設けることにより、引き続き高い思考力・判断力・表現力を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①単元ごとの小テストの実施</li> <li>②授業プリントの工夫、キーワードを使った話し合い活動の充実</li> <li>③単元に関連する映像の活用</li> </ul>
英語	・令和7年度新宿区学力定着度調査では、「英文や対話に応じた英文記述」と「必要な情報の聞き取り」に課題があった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>反復練習や小テストを十分に取り入れ、基礎・基本となる語彙力を伸ばす。</li> <li>場面に応じた即興的な対話活動を帯活動として行い、リスニング力、表現力を高める。</li> <li>多様な英文に触れ書くことを習慣化し、読み取る力を伸ばす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①即興的表現の帯活動の充実</li> <li>②TeamsのAI音読課題を使用</li> <li>③ICT機器を活用したテストや発表活動</li> <li>④デジタルドリルの活用</li> </ul>